

- 第2四半期 外食・中食市場 食機会数の変化 - (エヌピーディー・ジャパン 社 調べ)

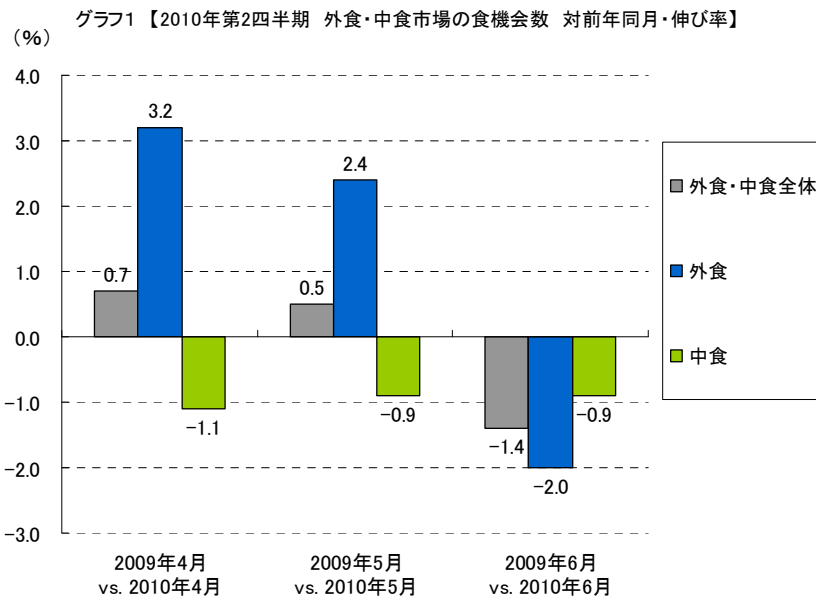
～ 外食市場は後半にかけて失速 - サッカーW杯の影響? ～

【東京、2010年8月23日】エヌピーディー・ジャパン社が提供する外食・中食市場データサービスCREST*から、2010年第2四半期 外食・中食市場の食機会数 対前年同月・伸び率をみると、2010年6月度の外食市場は厳しい状況であったことが分かった。

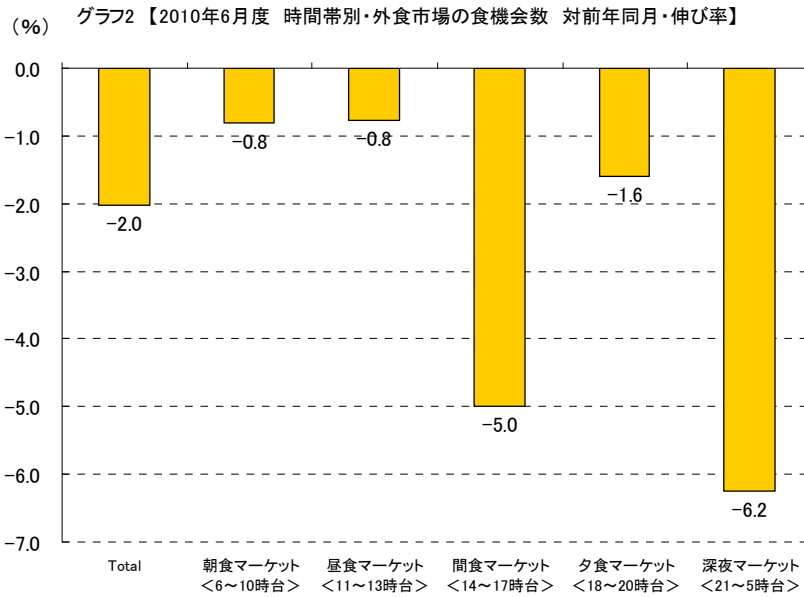
まずグラフ1は、2010年4月-6月度の外食・中食市場の食機会数を前年同月と比較し、その伸び率を示したものである。このグラフから、中食は4月度-1.1%、5月度-0.9%、6月度-0.9%と、前年比較では食機会数に大きな回復はなかった。一方、外食は2010年4月度(+3.2%)、5月度(+2.4%)までは非常に好調であったが、6月度は-2.0%となり、明確な落ち込みがみとれる。

次にグラフ2は、不調であった2010年6月度における外食市場の食機会数 対前年同月・伸び率を時間帯別に表している。グラフが示すように、他の時間帯と比較した場合、特に深夜マーケット(21時～5時台)で食機会数の減少が顕著(-6.2%)であったことが分かる。

この2010年6月度の外食市場の不振は、天候不順によるものも一部考えられるが、主な要因としては6月中旬から南アフリカで開催されたサッカーW杯があげられる。夜の8時以降の放送時間に合わせ、自宅で観戦する人々が多かったため、夕食・深夜マーケットでの食機会が落ち込んだと考えられる。(小野雄大)



(エヌピーディー・ジャパン(株) 'CREST' より)



(エヌピーディー・ジャパン(株) 'CREST' より)

* **CREST(クレスト)**とは、約 20,000 人/月のサンプル数を誇る、2003 年より開始したサービスであり、外食・中食市場において 'いつ、誰が、どこで、何を、どのように食べ、どの程度満足したか' という情報を 1 年 365 日、直接消費者から収集し、データベース化した情報サービスです。

The NPD Group について

The NPD Group は、信頼性の高い消費者/小売り情報を幅広い産業に提供している、リサーチ業界のリーディング・カンパニーです。現在では、製造業/小売業/サービス業を営む 1,800 社以上のお客様に対し情報サービスを提供しており、様々な場面でお客様のビジネスにおける意思決定をサポートしています。日本には 5 つの事業部(フードサービス、スポーツ、アパレル、テクノロジー、ディスプレイサーチ事業部)があり、お客様の新たなビジネス機会の発見や商品開発、マーケティング・営業活動、マーチャライジングに貢献しております。

お問合せ先/メールの配信・解除は以下のアドレスまでご連絡お願い致します。

npdjapan.info@npd.com

担当: 小野 雄大

エヌピーディー・ジャパン株式会社

〒108-0074 東京都港区高輪 3-23-17 品川センタービルディング 13 階

TEL: (03) 5798 - 7663 / FAX: (03) 5798 - 7665

www.npdjapan.com